

研究・調査報告書

| | |
|--|-------------------|
| 報告書番号 | 担当 |
| 500 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学 |
| 題名 (原題/訳) | |
| Low level alcohol intake, cigarette smoking and risk of breast cancer in Asian-American women. アジア系米国人女性における少量飲酒、喫煙および乳癌の危険 | |
| 執筆者 | |
| Brown LM, Gridley G, Wu AH, Falk RT, Hauptmann M, Kolonel LN, West DW, Nomura AM, Pike MC, Hoover RN, Ziegler RG. | |
| 掲載誌 (番号又は発行年月日) | |
| Breast Cancer Res Treat. 2010 Feb;120(1):203-10. Epub 2009 Jul 12. | |
| キーワード | |
| 乳癌、飲酒、喫煙、アジア系米国人、疫学 | |
| 要旨 | |
| <p>これまでの研究は米国へのアジア系移民の乳癌発生率が数世代を通し米国人の発症率に近付いていることを示したが、それはもしかすると他の集団でより多い乳癌リスクと関連しているとされる中程度飲酒のような修正可能な暴露で解釈されうるかもしれない。本研究の目的はアジア系米国人女性の乳癌リスクに及ぼす飲酒、主に少量レベルの飲酒の影響を調査し、さらに喫煙とアルコールが米国へのアジア系移民の間で観察した乳癌発症率に影響したかどうかを探索することであった。住民ベースの症例対照研究での研究対象者は、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ハワイのオアフ島に住む 597 人の中国人、日本人、フィリピン人の乳癌症例者と年齢、民族、居住地域の頻度を一致させた 966 人の住民対照者である。喫煙と飲酒の割合は東洋系に比べ西洋系の女性で有意に高かった。しかし乳癌の危険性は、このアルコール低消費集団において (1 日摂取グラム of the median は症例で 0.48、対照で 0.40)、喫煙または飲酒と有意な関連は認めなかった。それぞれ、オッズ比 (OR)=1.2、95%信頼区間 (95%CI) =0.9-1.6、OR=0.9、95%CI=0.7-1.1。これらの結果は、アジア系米国人女性において少量飲酒が乳癌リスクの増加と関連はなく、移住型式や西欧化と関連するアジア系米国人女性においてその上昇したリスクに酒も煙草も影響しなかったことを示唆する。</p> | |